



食事付きマンションタイプ

文教大学専用寮 ブロンズ新越谷

物件概要	住所	埼玉県越谷市南越谷3-1-38
	居室	キッチン・バス・トイレ3点付き洋室18㎡【家具家電備え付け】
	共用設備	ダイニングルーム、ラウンジ、防音ルーム（ピアノ完備）、ランドリー（洗濯・乾燥機）、駐輪場
	構造・規模	鉄筋コンクリート造4階建
	定員	65名
	アクセス	東武スカイツリーライン（伊勢崎線）「新越谷」駅徒歩約7分、JR武蔵野線「南越谷」駅徒歩約7分

月額館費	食事別	70,300円 (半年払い421,800円／ 年払い843,600円)
	食事込	89,660円（平日、土曜の朝夕食提供） (半年払い537,960円／ 年払い1,075,920円)

その他の費用	月間管理費	21,500円
	電気料金	電力会社との直接契約
	水道料	月額1,650円
	通信設備料	月額3,960円（Wi-Fiインターネット）
	食事料金	食事別プランの場合、 朝食429円・夕食792円 (1食ごとに計算し翌月請求)

入館手続き費用	入館費	1年契約 150,000円 2年契約 200,000円 3年契約 260,000円 4年契約 280,000円
	保証金	50,000円
	事務手数料	16,500円



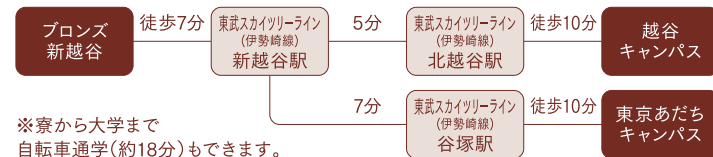
＼3分でサクッと／
動画で知る！

BRONZE!MAP

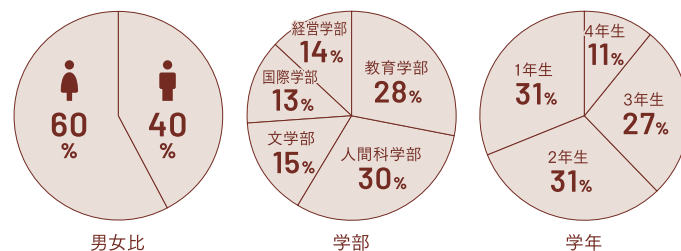


ブロンズ新越谷は、文教大学生にとって理想的な位置にあります。2つのキャンパスの中間に位置し、どちらへも自転車でも通学できます。さらに、2駅2路線が利用可能なので行動範囲がぐっと広がります。周辺は緑豊かで、お店や施設も充実。最寄り駅周辺も発展しているので、快適な日常生活を送れます。おまけに、人気のイオンレイクタウンまで電車1本でアクセス可能です。

ACCESS TO TWO CAMPUSES



BRONZE DATA



お問い合わせ・お申し込み
株式会社共立メンテナンス(文教大学提携)
〒101-8621 東京都千代田区外神田2丁目18番8号



文教大学
学生寮のご案内



詳細・申し込み

BRONZE!

文教大学専用寮「ブロンズ新越谷」ガイド



TAKE
FREE

寮でよかったこと
7つのこと
安心安全だけじゃない!?

安心安全は当たり前？

寮にしてよかった7つの理由

文教大学の専用学生寮「ブロンズ新越谷」に実際に住む3人の学生さんにインタビューしました。

彼らの声から見てきた7つの魅力をご紹介します。

1

食事の心配なし！ 時間と手間も大幅削減

Q：寮を選んだ理由の一つに「食事」がありましたね。実際どうですか？

ヒグチ：本当に助かっています。朝起きてすぐ、そして夜遅く帰ってきてすぐに食べられるんです。時間の節約になりますし、テスト期間中は特にありがたいです。

イグチ：サークルが終わって帰ってくると時間がないんですが、すぐに食事ができるのはありがたいです。おかわりもできるので、たくさん食べられます。

クドウ：デザートが出るのが嬉しいです。実家ではあまりなかったのですが、リッチな感じがしますね。ごまプリンが特に好きです。魚が少し苦手なんですけど、栄養のことを考えて頑張って食べるようにしています。

2

やっぱり安心が違う

Q：一人暮らしと比べて、寮の良さは？

クドウ：セキュリティがしっかりしているのが大きいです。家族も安心してくれています。帰りが遅くなることもありますけど、寮なら安全に帰れるので助かります。

イグチ：寮長さんや頼れる人がいるのも安心です。一人暮らしだと不安なこともありますからね。実際、トイレが壊れた時にすぐに修理を手配してくれて助かりました。

ヒグチ：僕は去年具合が悪くなった時に、寮長寮母さんに救急車の手配をしてもらったり、入院中にお見舞いまで来てくれました。本当に助かりました。



豆知識

2022年4月に文教大学専用寮としてオープンした「ブロンズ新越谷」。この名は学生投票で選ばれました。文教大学の「B」、brother(仲間)の「bro」、オランダ語で「私たちの」を意味する「onze」を融合。「新生活の仲間が交流を深め、自分の家のような安心できる存在に」と命名した文学部1年の上田さんの願いが込められています。

3

ラクラク通学& 行動範囲が広がる立地

Q：立地についてはどうですか？

ヒグチ：環境がいいです。日当たりもいいんです。あとスーパーや美味しい飲食店も近くにあります。特におすすめは「ピロウ」というラーメン屋さん。和風で濃厚なのに油っぽくない、絶品なんです！映画観たり、服見たりでレイクタウンにも行きますが、乗り換えしなくていいというのは思ったより便利でした。

クドウ：南越谷駅と新越谷駅、JRと東武線どちらも使えるのが便利です。学校へは東武スカイツリーラインで2駅、レイクタウンへはJR線で1駅で行けます。ボランティア先への移動も便利で助かっています。

Q：通学手段はどうですか？

ヒグチ：学校には自転車でも行けます。20分くらいです。そのくらいで着くので、苦じゃないです。自転車通学の人はたくさんいます。

クドウ：私は電車派です。自転車は時間がかかるかなというイメージがあったので、いま「意外と近いんだ」とびっくりしました。

4

自由度が高い

Q：ルールとか規則は厳しい？

イグチ：寮という厳しいイメージはあるかもしれませんが、この寮はアプリで寮長とやりとりしたり、外泊届もほぼ「送信」だけで済みます。そのへんもだいぶ楽ですね。

ヒグチ：そうだね。ここの寮は規則が厳しいとかではないし、友達との距離も近くてラクだと思います。

クドウ：食事の時間が決まっているので、「起きなきゃ食べられない」と思って自然と朝起きられるようになりました。資格取得を目指しているので、規則正しい生活ができるのはとてもありがたいです。



ヒグチさん
人間科学部心理学科2年
(新潟県出身)

焼き肉店でアルバイトをしながら、心理学を科学的に学ぶことに意欲的。



イグチさん
人間科学部臨床心理学科1年
(新潟県出身)

中高一貫校出身。不登校や人間関係のトラブルで悩む生徒を助けたという思いから心理学を志す。



クドウさん
人間科学部臨床心理学科3年
(茨城県出身)

社会福祉士の資格取得を目指し、児童養護施設でのボランティア活動にも熱心。

Bronzeの
詳細・マップ
→

5

コミュニティがある

Q：寮での人間関係はどうですか？

ヒグチ：同じ寮に住む友達と気軽に出かけたり遊んだりできるのがいいですね。新入生歓迎会など、仲良くなれるイベントもあります。

イグチ：人と話したい人にとってもいいし、そうでもない人も自分のペースで過ごせます。コミュニケーションの取り方を選べるのがいいですね。私は時々、玄関でこっそりダンスの練習をしています(笑)。広いスペースがあるのでありがたいです。音楽はイヤホンしながら。夜な夜な、見られたらちょっと恥ずかしいんですけどね。

ヒグチ：そういえば、食堂と一緒にご飯を食べるのも仲良くなるいいきっかけになりますよね。自然とコミュニケーションが生まれる感じがです。

クドウ：私はラウンジでよく過ごしています。電子レンジがあるので便利なんです。土日とかにご飯を買ってきて温めたり、他の人とおしゃべりしたり。ちょっとしたコミュニティスペースになっていますね。

6

新学期から差がつく 学習環境

**Q：大学専用寮ならではの
メリットを感じることはありますか？**

イグチ：特に感じたのは、入学当初の履修登録の時ですね。先輩に相談できてすごく助かりました。資格取得に必要な授業のアドバイスももらえました。高校の時は大学生活をもっと遊んでいるイメージでしたが、実際はかなり忙しいんだと実感しています。

ヒグチ：確かに同じ学部の先輩とかがいるのは大きいですね。僕は部屋で勉強するタイプですが、同じ授業の人同士で食堂とかで勉強している光景をよく見かけます。ちょっとした刺激にもなりますね。

7

自立の準備にちょうどいい

Q：生活力は身につきましたか？

ヒグチ：寮と言っても洗濯、掃除、身の回りのことは自分でやるようになりました。少しずつ生活力がついた気がします。

クドウ：いきなり一人暮らしだと大変だと思いますが、ここなら食事を用意してもらえるし、休日は自分で何とかするという塩梅で、徐々に自立できる環境だと思います。

イグチ：私も同感です。寮生活は、家族のサポートがある実家暮らしと、すべて自分でやる一人暮らしの中間くらいの感じで、ちょうどいいバランスだと思います。

Q：最後に、寮生活はいかがですか？

3人：(口を揃えて)楽しいです！

イグチ：毎日、寮長さんから「行ってらっしゃい」「おかえりなさい」と声をかけてもらえるのが嬉しいです。家族みたいで温かいです。

インタビューは
WEBでも読めます。



STAFF COMMENT



ブロンズ新越谷
寮長寮母 伊藤夫婦

一人暮らしは「自立」と「安心」のバランスが大切です。「ドアを閉めたら自分の家」という意識を持ってもらいながら、困ったときはいつでも相談できるように心がけています。食事は「伊藤食堂」を合言葉に、味付けはダブルチェック。二人で味見して寮生の好みに合わせて日々調整しています。安全には常に気を配り、緊急時にも迅速に対応します。また大学専用寮ならではの利点として、先輩による履修登録サポートも実施しています。充実した学生生活のために、時間を有効活用できる環境を提供しています。ぜひ一度見学にいらしてください。



文教大学 越谷学校課
課長 石山 哲夫さん

本学寮「ブロンズ新越谷」の一番のポイントは「食」でしょう。温かい食事をその場でいただけるのは理想的です。寮では生活リズムづくりも大切にされ、寮長さんは「良い意味で厳しく、優しく」学生と向き合ってくれています。安全面でも気を配り、万が一の際にも我々と連携して対応できる体制があるので安心です。文教大学ではクラスや部活、サークルが活発で、「ヨコ」のつながりを生み出しています。今後は学部や学年を超えた「ナナメ」の交流も期待しており、ブロンズがこうした多様なつながりを育む場になればと思っています。